

国語科 授業改善のポイント3

H26.12.8



単元を貫く言語活動の大切さは分かっているけれど、第三次にパンフレットなど作っていると、時間が足りなくなってしまう・・・

このような声を聞くことがあります。では、教育課程の授業時数で、単元を貫く言語活動を設定した授業を行うには、どのようにしていけばよいのでしょうか。



時間が不足する理由としてよく耳にするのは・・・

- 言葉をもとにした詳細な読み取りを行うと時間がかかる。
- 能力差が大きいため、個別に指導すると時間がかかる。
- 漢字や語句を丁寧に指導すると時間がかかる。
- 音読に力を入れているので、どうしても時間がかかる。 等

言葉をもとにした詳細な読み取りを行うと時間がかかる。



身に付けさせたい力を考えたうえで、詳細な読み取りを行っているのでしょうか。小学校、中学校の学習指導要領の「読むこと」の指導事項に、「場面ごとにしっかり読み取る」といった精読の指導事項はありません。児童生徒が、登場人物の行動や心情に共感し、こだわりをもった場面で、詳細な読み取りを行うことは、「文章の解釈」や「自分の考えの形成」において、効果があります。しかし、教師の教材観に基づく、毎時間の場面を区切った詳細な読み取りでは、児童生徒の学習意欲を低下させる一因となります。

言葉をもとにした詳細な読み取りは、ねらいを明確にし、ピンポイントで行う。

能力差が大きいので、個別に指導すると時間がかかる。



パンフレットを作るなどの具体的なゴールを設定することは、国語があまり得意でない児童生徒にとって、単元での学習をイメージしやすくなります。さらに、教師にとっても、「単元で身に付けさせたい力」や「そのために必要な力」を考えて単元構想をするので、児童生徒への個別指導のポイントが明確になります。

→ 「身に付けさせたい力」「そのために必要な力」を明確にし、ポイントをしぼった個別指導を計画的に行う。

漢字や語句を丁寧に指導すると時間がかかる。



家庭学習で漢字練習や語句調べを課題としている学校は多いと思います。家庭学習と授業を関連させ、授業において意識してほしい漢字や語句にしぼり、指導を行います。それにより、家庭学習の意義を実感させるとともに習慣化にもつながります。

→ 家庭学習と授業の関連を図り、効率的に指導を行う。

音読に力を入れているので、どうしても時間がかかる。



音読の目的を明確にして行うことが大切です。また、一人ずつ読むことにこだわらず、ペアやグループ、一斉など、めあてにつながる音読を心がけます。漢字と同様、家庭学習で音読を課題としている学校も多いので、家庭学習と授業の関連をもたせてください。

→ 音読もめあてにせまる手立ての一つとして、目的を明確にし、形態を工夫する。

思考力・判断力・表現力を育成することや、**国語科の目標**にせまるためには、まず、単元を貫く言語活動を設定した単元構想で、授業を行うことが大切です。そして、第三次で行うパンフレット作り等は、単元において児童生徒に**身に付けさせたい力**を具体物として提示したもののなのです。

